⑻　リース取引の会計処理
　リース料総額が３百万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理方法によっております。
⑼　消費税等の会計処理
　消費税及び地方消費税の会計処理方法は、税込方式によっております。
⑽　財務諸表及び附属明細書（損失の処理に関する書類（案）を除く。）端数処理
　財務諸表及び附属明細書（損失の処理に関する書類（案）を除く。）は、千円未満切捨により作成しております。

（貸借対照表関係）
運営費交付金から充当されるべき退職給付の見積額は298,024千円です。
運営費交付金から充当されるべき賞与の見積額は35,802千円です。

（損益計算書関係）
固定資産除却損の内訳は以下の通りです。
　工具器具備品　69千円

（キャッシュ・フロー計算書関係）
⑴　資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳
　現金及び預金　266,804千円
　資金期末残高　266,804千円

（固定資産の減損に係る注記事項）
⑴　減損を認識した固定資産
　該当事項はありません。
⑵　減損の兆候が認められた固定資産

用　途	種　類	場　所	帳簿価額	認められた減損の兆候の概要	減損の認識に至らないとした根拠
電話加入権	電話加入権	葉山キャンパス	390千円	市場価格の著しい下落	回収可能サービス価額が当該資産の帳簿価額以上であるため

（重要な債務負担行為）
該当事項はありません。

（金融商品関係）
⑴　金融商品の状況に関する事項
　当法人は資金運用については預金に限定し、借入れによる資金調達は行っておりません。
⑵　金融商品の時価等に関する事項
　期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれからの差額については、次の通りであります。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額（＊１）	時価（＊１）	差額（＊１）
⑴　現金及び預金	266,804	266,804	—
⑵　未払金	(259,192)	(259,192)	—

（＊１）　負債に計上されているものについては（　）で示しております。
（注１）　金融商品の時価の算定方法
⑴　現金及び預金
　これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額のほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。
⑵　未払金
　これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

（資産除去債務関係）
該当事項はありません。

（賃貸等不動産関係）
当法人は、保有している賃貸等不動産の重要性が乏しいため、注記を省略しております。

（重要な後発事象）
該当事項はありません。

附　属　明　細　書

⑴　固定資産の取得及び処分、減価償却費（「第84　特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第89　資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）並びに減損損失の明細

（単位：千円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘　要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建　物	1,794,852	176,604	—	1,971,456	658,116	66,401	—	—	—	1,313,339	（注１）
	構　築　物	217,269	890	—	218,160	116,341	13,263	—	—	—	101,818	
	工具器具備品	73,284	—	—	73,284	57,769	9,029	—	—	—	15,514	
	計	2,085,405	177,495	—	2,262,900	832,227	88,694	—	—	—	1,430,672	
有形固定資産（特定償却資産以外）	建　物	138,681	82,870	—	221,551	31,489	8,591	—	—	—	190,062	（注２）
	構　築　物	20,157	4,264	—	24,422	4,746	1,700	—	—	—	19,675	
	工具器具備品	656,920	55,823	15,383	697,360	428,824	78,268	—	—	—	268,535	（注３）